

甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成29年8月7日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（6名）

委員長	保坂芳子君	副委員長	赤澤厚君
	松井豊君		斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君		三浦進吾君

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	有野恵里

議題

- 1 市民と議会の対話集会について
- 2 その他

開会 午前11時27分

○書記（輿石文明君） ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、保坂委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（保坂芳子君） 臨時議会が終わったばかりでご苦労さまでございます。

本当に暑さ暑さで先日は最高気温だったということで、体調には十分気をつけていただいて進めていきたいと思っています。本当に事務局を初めとして皆さんのご努力がありまして、このたび対話集会の要綱も決まっていますので、よろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

議長におかれましては、別件で欠席となっておりますので、ご報告いたします。

それでは、議事の進行につきましては、保坂委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（保坂芳子君） ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

○委員長（保坂芳子君） それでは、本日の会議を開きます。

それでは、内容に入ります。

市民と議会の対話集会についてを議題といたします。

7月31日、地区ごとに打ち合わせを行いましたので、その結果をご報告いただきたいと思います。

最初に、斉藤委員、よろしくお願いいたします。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 竜王地区については、一応、11月16、17日のどちらかで、竜王東児童センターで、地域は一応、富竹新田1区、2区、3区、4区、その近辺というようなことで、という案が出ました。確認した結果、16日でも17日でも竜王の児童センターは一応あいているということなので、ここで決定すれば、それをもって、あと、詰めていくことは、じゃ、どのようなテーマでどういう事をということをもた地区の議員さんみんなと相談して決めたいというふうに思っています。

今のところ決まっているのはこの2点ということになるのかなと思います。

以上です。

○委員長（保坂芳子君） ありがとうございます。

続きまして、赤澤委員、お願いいたします。

○委員（赤澤 厚君） 敷島・双葉地区については、開催日は11月9日、10日という当初あったんですけども、たまたま11月10日が総合文化会館、これ、事前に予約が入っていたので、11月9日に決定をしました。木曜日、時間は午後7時です。敷島総合文化会館の視聴覚室で行う予定であります。

対象地区ですけども、ちょっとこれは訂正をお願いしたいんですけども、当初、敷島・双葉地区の議員さんたちにちょっと寄っていただいて、今回は敷島支部ということで話し合いの中で、島上条地区ということで話はなつたんですけども、それを島上条地区と私ちょっと聞いたら、12区自治会があるもので、とても12の自治会が入ってしまうと、とてもまとまりがつかなくなるということで、きょう、敷島地区の議員さんに皆さんに了承していただいて、地区が変更になりましたので、ちょっと訂正をお願いしたいということで、上町北、上町南、堅町というこの3地区を対象として行いたいと思います。

テーマについては、先ほど斉藤委員が言ったように、こちらのほうも、議員さんの意見も聞きながら、また、地域の自治会長とかに、きょう決まりましたら要請をしていきますので、その辺のところの意見も聞きながら今後テーマを決めていきたいなと思っておるところです。

以上。

○委員長（保坂芳子君） 対象地区が3地区に変更になったと。

○委員（赤澤 厚君） はい。

○委員長（保坂芳子君） ありがとうございます。

それでは、今後の進め方ですが、昨年度の実施要項を参考にいただきまして、本年度のテーマ、それから役割分担などを再度各班で協議して決定していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、事務局に平成29年度の要綱を作成させますので、恐れ入りますが、8月25日までに、テーマ、役割分担等をご報告願います。

何かございますでしょうか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） そうすると、班ごとの、地域ごとのあれは、班長の一任で招集をかけ

たり会議を開いていいということですか。

○委員長（保坂芳子君） そうですね。あと事務局……

○委員（斉藤芳夫君） その日程とか日を見ながらやるということで。

○委員長（保坂芳子君） はい。お願いします。

○委員（斉藤芳夫君） わかりました。

○委員長（保坂芳子君） よろしいですか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） これはこの間の双葉・敷島地区の議員さんから出た話なんですけれども、内容をですね、議会の一つの、事前に我々のところに出していただいてあれが出たら、まずいんじゃないかということで、検討したらどうだという意見も出ているんで、また次回的时候にその辺も議題にさせていただいて、当然次回の内容等も見据えるということですが、一応そんなことが出たという、きょうは報告だけしますんで、今後検討していただければというふうに思います。

○委員長（保坂芳子君） それもあわせて検討するということで。

では、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） それでは、以上で市民と議会の対話集会についてを終わります。

次に、その他を行います。

次回の日程を決めたいと思います。

9月定例会が9月11日からなので、9月4日から8日の間で、その週でどうでしょうかということ。皆さん、いかがですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（保坂芳子君） お任せですか。

よろしいですか、事務局のほうで決めていただいてもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君） じゃ、いろんな日にちを見ていただいて決めていただきたいと思います。

そのほかに委員からありましたらお願いいたします。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 教育委員会の教育部長、教育長に、各地で高校生と中学生の選挙に対

する、あるいは政治に対するというようなことのいろいろの模擬議会とか、あるいは対話みたいなことがいろいろやられているんで、甲斐市の中学校ともどうだろうかと。何かそういう勉強会みたいなものをお互いに模索し合える可能性はあるだろうかということで打診してもらって、調べてもらっています。校長先生方から返事はまだ来ていませんけれども、もしそういうふうで、各地域ごとに出前で我々が対話に行くとかというようなことが来年3月前、できれば年内か年明け早々ぐらいのころにできるような可能性があるとしたら、またこの委員会に相談申し上げますんで、ご検討いただいて、それで、ぜひ一度はやってみたいというふうな意見があったので、ご報告いたします。

以上です。

○委員長（保坂芳子君） 対話集会のとは別に。

○委員（斉藤芳夫君） 別にということに、これは今、対話集会については地域も場所もということ、もう既に決まったことなんで、これとは別に、また議会改革の事業の一つとして、何かこれが取り上げられる可能性があれば、こちらも検討してみたいかかなというふうに思っています。

以上です。

○委員長（保坂芳子君） ご検討はいつ……

松井委員。

○委員（松井 豊君） 斉藤委員にちょっと私1問だけ。よそでやっているのはどんなケース、パターンでやっているか、参考に。

○委員（斉藤芳夫君） 一番簡単というか手取り早いのがよそでやっているのは、模擬議会という形で、学生が議員になる、当局の執行側が答弁側のほうにつくということで、議会がどんなふうなシステムでどんなふう動いているかみたいなことと、その中で、やっぱり忌憚のない意見がいっぱいいろいろ出ていると。それに対して今後誠実に答えるという形で、議会のあり方みたいなものを行っているということと、あとは、選挙権をいただくにつけて、どういうところをどういうふうに判断して、どういう人に同意をするかというような模擬討論みたいなものやってみたりとかいう例が幾つか、県内でも幾つかやり始めたというような報道なんかで読んでいます。

私どもは、以前にも私一般質問で言ったと思うんだけど、議会傍聴に来てもらうのもいいし、あるいは市長と面談会をするようなこともいいんじゃないかとか、あるいは我々側のほうが出かけて行って勉強会を開くというのもいいんじゃないかというようなことを言っ

た経過がありますので、そういうようなものを全体的にひっくるめて、何か1回やってみたらどうだろうということを教育委員会のほうに打診してあるんで。どういう形がいいかはまた皆さんで相談してもらう、あるいは相手方の都合もあるので、一概に決められないと思うんで。その辺は相談して決めればいいかなと。ただ、何もしないより、1回ぐらいやりたいたいというような意見があるので。子供たちがどう思っているか、学校がどう思っているかは今打診しているところなんで、まだはっきりわかりませんが。そういうことです。

○委員長（保坂芳子君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 例えばつい最近、蕪崎市もそういう催しがありました。多少情報もあるんだけど、ただ、とはいっても、その中で、やっぱり情報を聞いて、資料をいただいた中で、例えば改革委員会の中で検討したいと思うんですが、次の、例えば改革委員会に間に合えば、ぜひ蕪崎からの報告もごきますから、そういう資料を見た中で、また先ほど斉藤委員が教育委員会にお願いしたという報告もごきますから、そちらのまた報告の回答がどんなものなのか、それも踏まえて、改革で検討したらいいかなと思っているところです。

○委員（斉藤芳夫君） ちょっと言い忘れていたんで、それを議会改革で、議会改革が単独でやるという話ではないので、一応は議会改革で何らかの方向性が出たら、これはもう全協にかけて、ぜひ総意でというふうになるなら、なるようにということの手続を踏まないといけないと思うんで、その辺はよろしくをお願いします。

○委員長（保坂芳子君） はい。建設的なご意見でした。ありがとうございました。

ほかに、今の意見どうですか、ほかの委員さんありますか。

[発言する者あり]

○委員長（保坂芳子君） 検討でいいですか。

[発言する者あり]

○委員長（保坂芳子君） ほかにいいですか、よろしいですか。

私なんかもちよっと一般質問なんかで、教育委員がちゃんと、ちよっと今、やりますみたいな感じでいただけなかったんですが、ただ、今後ですね、9月、10月、11月になると、結構学校も大変なので、本当にやるのかと思ったんです。いずれにしましても次回ですね、斉藤委員のほうから計画のほうを具体的にもしあれば、提案していただければ、もっと具体的に話が進むかなと思いますので、よろしくをお願いします。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 学校側から、あるいは教育委員会との協議の中でどんな話が出てくる

か、それ次第によって、私たち側もそれを検討してみるかみないかという段階なので、何とも言えないんですけれども。いきなり唐突にぽつと、話みんな決まりましたから、こうやります、いかがでしょうかと、こういうわけにもいかないの報告したんです。

○委員長（保坂芳子君）　じゃ、次回よろしくお願ひしたいと思います。

ほかに。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君）　基本的にはいいんですけれども、基本的に議会のことは議長にまず通していかないと、個人でやることは、教育長ないし学校を使うということになるんで、議会だと議長を通してやっていかないと、ちょっとほかに協力面があるという、そこはよく気をつけていただきたいと思います。

○委員長（保坂芳子君）　はい。とにかく連携とって。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君）　今、斉藤委員の言った話をしますと、議会としても大切なことでありますし、今、議長も通さなければというか、全員協議会ということになれば、議長に行くわけだから、その中で話をしていくということなんでしょうけれども。やっぱりここで、議会改革で委員でいるってことはですよ、議会が中心になってやらないと、蕪崎市あたりは行政がやっている話でね。だから、やっぱりここで言われたものを行政にお願いするというのもおかしな話だから、もうやっぱり議会としてやっていくというような方向でないとおかしいと僕は思います。だから、そういう覚悟があるかどうか、みんながね。

○委員長（保坂芳子君）　貴重なご意見いただきました。ありがとうございました。

では、また次回に持ち越しますが、検討いただいて、また次回、議論をしていきたいと思ひます。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（保坂芳子君）　じゃ、以上でその他を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会　午前11時44分